項目

# 主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

#### 1. 病院事業

#### 1. 事業概要

#### (1) 総括事項

令和元年度の病院事業は、町内唯一の医療機関として、入院、外来及び救急指 定病院の役割を担い救急患者の対応に努めたほか、保健・予防活動として町保健 福祉課との連携により、特定健診などの各種検診業務等を行った。

患者の利用状況については、1日当り入院は36.5人で前年度比4.1人(12.8%)の増、外来は80.9人で前年度比は同じとなった。また、訪問看護事業は延べ227人で前年度比64人(39.3%)の増となった。

収益勘定の医業収益では、入院が233,112千円で前年度比28,913千円(14.2%)の増、外来は151,268千円で前年度比1,864千円(1.2%)の増となった。訪問看護事業は1,201千円で前年度比190千円(18.8%)の増となった。これに、その他の医業収益39,247千円を加えると令和元年度の医業収益は424,828千円、医業外収益は452,421千円で、病院事業収益合計では877,249千円となり前年度比で36,960千円(4.4%)の増となった。

医業費用では、給与費が594,733千円で前年度比24,867千円の増、 材料費は59,263千円で前年度比3,062千円の増、経費は157,89 0千円で前年度比2,196千円の減となった。

減価償却費は71,021千円で1,729千円の増、医業費用合計では892,593千円となり前年度比33,275千円の増となった。

医業外費用は、42,745千円で前年度比6,146千円の増となり、病院事業費用の合計は935,338千円で前年度比39,421千円(4.4%)の増となった。そのうち一般会計から収益的収支に対する負担金として430,000千円(前年度同額)を繰り入れたが、収支差引では58,089千円の赤字決算となり、未処理欠損金は前年度末残高864,867千円と合わせて922,956千円となった。

資本勘定の収入では一般会計からの出資金53,529千円、国保会計繰入金41,650千円、企業債114,200千円を借入れし、収入全体で209,379千円となった。支出では有形固定資産購入に64,691千円、病院改修費に89,998千円、企業債償還金支払いに60,522千円を支出し、資本的収支全体では215,211千円(前年度比35,516千円増)となり、不足する額5,832千円は過年度・当年度損益勘定留保資金を充当した。

医師体制については、4月から札幌医科大学医学部より、前年の塩野谷内科医長の代わりに呉内科医長の派遣を頂き、4人の常勤医師体制でスタートし、9月からは宮西内科部長を迎え、入院、外来、健診等の診療対応を図ることができた。

また、休日等は札幌医科大学等の支援を得ながら医師の安定確保を図った。短期医師については、整形外科診療は市山医師に、泌尿器科診療は協会病院に、眼科診療は北海道大学に診療を依頼し行った。

年度末の職員数は71人であり、その内訳は正職員41人、臨時職員30人である。

こうした体制のもとで病院経営は、一般会計からの繰り入れを除く実質赤字額は488,089千円となり赤字額は前年度比2,460千円の増となった。

総務省が示した「新公立病院改革ガイドライン」に沿って、当院でも平成28年度「新公立病院改革プラン(平成29年度~令和2年度)」の策定を行ったほか、8月に「士幌町国民健康保険病院経営改善検討委員会」を設置、合わせて一般社団法人北海道総合研究調査会に対し、病院経営に係る調査分析を委託した。

今後とも地域における医療を守るために、医師の安定確保を図りながら、信頼される医療の提供と患者サービスの向上、新公立病院改革プランや、経営改善検討委員会の議論を反映しながら経営の効率化等に努め、更なる経費の節減と増収、増益に意を用い、経営の健全化に努めていかなければならない。

主要施策·成果·予算執行実績 項 目 ①診療体制 ・医師体制について 内科 6人(常勤5人、非常勤1人) • 出張医関連医局等 眼科外来~北海道大学医学部眼科学分野 泌尿器科外来~带広協会病院泌尿器科 整形外科外来~带広整形外科医師 札幌医科大学呼吸器アレルギー内科、神経内科 旭川医科大学麻酔 · 蘇生科 ・電子カルテシステム稼働開始~令和2年1月20日より ②保健予防活動 町民の保健予防活動については、保健福祉課との連携により行われた。 日帰り人間ドック・特定健診・がん健診 各学校 · 各職場健康診断 各種予防接種 健康相談会 広報活動 町広報「病院だより」・出前講座「医師による健康講話」 ③経営安定対策 病院事業の経営改善計画に基づき、経営会議と院内会議を継続的に開催し、収 益の向上と経費の節減に向けた対策、病床数の再編(削減等)検討を行った。 また、医療事務の一部委託、清掃業務及び警備業務、公用車運転業務、調理業 務などを当年度も全面委託し経費の節減に努めた。 ④建設改良事業 診療充実に向けた建設改良、有形固定資産購入を次のとおり整備を行った。 ・建物改良整備 3件 89,885,000円 11件 64, 691, 200円 医療機器整備 (詳細は、2. 資産の取得及び処分(1) 資産の取得・器械備品等の取得欄に記 載のとおり) ⑤収支決算 入院及び外来の患者数、収益とその他医業収益については、入院患者数増によ り、収益は対前年度比で35,837千円の増となった。 また、費用では医師1人の増等により給与費等が増となり、費用合計では対前 年度比で39,421千円の増で58,089千円の赤字決算となった。 当年度総収益 877, 249, 103円 当年度総費用 935, 338, 303円 58,089,200円 当年度純損失 当年度未処理欠損金 922,955,937円 ⑥一般会計と国保会計からの負担金・補助金、及び企業債借入金 収益的収支 一般会計 430,000,000円(前年度430,000,000円) 430,000,000円(前年度430,000,000円) 計 資本的収支 一般会計 53,529,000円(前年度 57,629,000円) 41,650,000円(前年度 4,050,000円) 国保会計 114, 200, 000円 (前年度103, 800, 000円) 企業債 計 209, 379, 000円(前年度165, 479, 000円) 収益的及び資本的収支の合計 一般会計 483,529,000円(前年度487,629,000円) 41,650,000円(前年度 4,050,000円) 国保会計 企業債 114,200,000円(前年度103,800,000円) 639,379,000円(前年度595,479,000円)

計

## 項目

# 主要施策・成果・予算執行実績

# (2) 議会の議決事項

(1) 600 (1)						
	議会議案		件名	議決年月日		
	定例第2回	議案第16号	物品購入契約の締結	令和元年 6月14日		
	定例第3回	認定第8号	平成30年度病院事業会計歲入歲出決算認定	令和元年 9月12日		
	定例第3回	議案第21号	令和元年度病院事業会計補正予算(第1号)	令和元年 9月12日		
	定例第4回	議案第27号	令和元年度病院事業会計補正予算(第2号)	令和元年12月11日		
	定例第1回	議案第6号	令和元年度病院事業会計補正予算(第3号)	令和2年3月6日		
	定例第1回	議案第16号	士幌町国民健康保険病院事業条例の一部改正	令和2年3月10日		
	定例第1回	議案第29号	令和2年度病院事業会計予算	令和2年3月12日		

# (3) 職員に関する事項

職種別	30 年度末 H31. 3. 31	R2. 3	度末 3.31 在		令和元年度中の異動		
1771=274	現在	総数	内臨時	転入		転	
				採用	異動	退職	異動
医師	5	6	1	呉 H31.4.2 宮西 R1.9.1		池田・呉・ 佐藤夏 R2. 3. 31	
薬剤師	1	1	0				
臨床検査技師	2	2	1				
放射線技師	3	3	1	宮口 H31.4.1		渡辺博 R1. 9. 30 仲山 R2. 3. 31	
理学療法士	1	1	0				
臨床工学士	2	2	0				
看 護 師	24	28	8	小林・瀧村 藤吉・藤澤 加納美 H31.4.1 戸水 H31.4.8 寺戸 R1.7.16 布谷 R1.11.12		戸水 R1. 6. 30 布谷 R1. 12. 27 糸谷 R2. 3. 31	松田 H31.4.1
准看護師	11	10	7			本村 R2. 3. 31	
看護補助員	10	10	10				
栄 養 士	2	2	0				
薬剤助手	1	1	1				
理療助手	0	0	0				
事 務 員	4	5	1	道端 R2.1.14		塚田・道端 R2. 3. 31	_
計	66	71	30				
<b>少</b> 人和二年由	:#=111#A#	<b>△</b> ∓n (	o 左 o 日	2 1 11 11 11	い日時上され	△£n二左	古一小公米と)   マ

<sup>※</sup>令和元年度転出者の内、令和2年3月31日付け退職者は、令和元年度末総数に 含める。

<sup>※</sup>清掃員4人、警備員2人、医療事務員5人、雑役業務1人、給食調理員3人、計15人は民間委託。

項目	主	要施策	• 成	果・予	第 孰	行 実 績	, mili		
	非常用力		工事 工事		2,	900, 855, 130,	000円		
	非常用系 調剤支持 一般X系 日医標準	経電機・始動 爰システム・ 泉撮影システ、 準レセプトソ	用バッテ 自動錠剤 ム	リー 散薬分包機	13, 6, 新 1,	7 9 6, 7 0 0, 2 8 0, 9 8 4,	000円 000円 000円 000円		
	パラマ! 電子カ/ LED <sup>†</sup> ノート/	昇降式介護浴槽4,290,00パラマウントベッド347,70電子カルテシステム導入36,650,00LED視力測定器134,00ノートパソコン245,00ラベルプリンター264,50							
	合計 (2)資産の	心分			154,	2 6 4, 5 7 6,	200円		
	調剤支持 全自動針	平機 動分包機 爰システム 錠剤散薬分包 X線高圧装置	幾		3, 5,	1 1 0, 4 9 1, 6 9 7, 0 0 0, 8 3 2,	000円 050円 000円		
	日医標 <sup>注</sup> オンラっ 電動昇降	な様同圧装員 単レセプトシ インバスEX &ストレッチ E装置専用架	(電動昇降 ヤー	<b>&amp;</b> リスト浴	19, 槽) 4,	9 4 3, 9 3 5, 9 4 0, 3 2 5,	400円 000円 000円		
	合計	上表直导用未	<b>□1</b> 1		45,	275,	The state of the s		
	3.業務 (1)業務量、	患者延べ人	数及び1	日平均患者	数 (	)前年度	(単位:人)		
	区 分	内 科	外 科	眼 科	整形外科	泌尿器科	合 計		
	入延べ人数	(11, 828) 13, 344	(0)	0 (0)	(0)	(0)	(11, 828) 13, 344		
	院 1日平均	(32. 4) 36. 5	(0)	0 (0)	(0)	(0)	(32. 4) 36. 5		
	外 延べ人数	(17, 603) 17, 827	(1)	(760) 791	(980) 611	(390) 342	(19, 734) 19, 571		
	来 1日平均	(72-2)	(0)	(3. 1)	(4. 0) 2. 5	(1. 6) 1. 4	(80. 9) 80. 9		
	合 延べ人数	(29, 431) 31, 171	(1)	(760) 791	(980) 611	(390) 342	(31, 562) 32, 915		
	計 1日平均	(104. 6)	(0)	(3. 1)	(4. 0)	(1.6)	(113. 3)		
	110.2   0   3.3   2.5   1.4   117.   ※ 外来患者数の内、時間外診療 5 7 2 人(内、救急車搬入 6 7 件) (2)集団検診等の状況 ( )前年度 (単位:日/								
	特定健診等	学校保育所 教 関係検診 検		人 間 結 ドック 検	核 職 場	その針	計		
	日数 (31) 26	(32) 29	(11) 10	(29) 28	(0) (71) 0 62	_	(延 174 日) 延 155 日		
	実施 (63)	(1, 183)	(78)	(52)	(0) (571)	(138)	(2, 085)		
	人数 52	1, 130	85	48	0 562	145	2, 022		

項	目		主 要	更 施 贫	<b></b> • )	成 果	· 予	算 執	行	実 績	
	(3) 訪問診療の実績					I	(単/	位:件/人)			
	大學 大學 大學 大學 大學 大學 大學 大學 大學 大學			<u></u>	訪問診療延件数			備	考		
		十/文///	男性	女性	計	男性	女性	計		νm	77
		元年度	0	3	3	0	26	26			
		30年度	2	2	4	8	24	32			
		29年度	1	3	4	6	26	32			
		28年度	3	2	5	21	22	43			
		27年度	3	3	6	14	17	31			
		26年度	2	4	6	18	30	48			
		(4) 貳	方問看護(	の実績						(単/	位:件/人)
		年度別	文	才象実人真	<u></u>	訪問	引看護延	件数		備	考
		十段所	男性	女性	計	男性	女性	計		VĦ	7
		元年度	7	3	10	135	92	227			
		30年度	4	1	5	149	14	163			
		29年度	3	3	6	92	30	122			
		(5) =	事業収益は	こ関する	事項		1	•		(.	単位:千円)
			区分		<u>수</u>	和元年月	芝	平成 30 年	度	比	較増減
		医業収益				424,	828		3, 991		35, 837
			.院収益			233,			199		28, 913
		-	来収益			151,			, 404		1,864
訪問看護山						201		, 011		190	
			の他医業	美収益			247		1, 377		4, 870
		医業外収		7.14.A		452,		451	, 298		1, 123
			取利息配			400	13	100	15		△2
			会計負担			430,		430	0,000		0
			者外給食			1.0	341	1.0	211		130
			:期前受金 ·の他医業				941 126		3, 266		675 320
		収益合計		マノトリメ金		877,			2, 806 0, 289		36, 960
			事業費用	に関する	<u></u> 事項	011,	249	040	7, 209	<u>()</u>	<b>並</b> ( 千円 )
		(0)	区分	(-)((-)		和元年月	美	平成 30 年	度		較増減
		医業費用				892,	593	859	, 318		33, 275
		給	:与費			594,	733	569	, 866		24, 867
		材	'料費			59,	263	56	5, 201		3, 062
		経	費			157,	890	160	, 086		△2, 196
		減	插償却費	Ī		71,	021	69	, 292		1, 729
		資	産減耗費	₹		6,	851		985		5, 866
		研	究研修費			2,	835	2	2, 888		△53

目	主要施策	· 成 果 ·	予算執行	実 績	
	区分	令和元年度	平成 30 年度	比較増減	
	医業外費用	42, 745	36, 599	6, 146	
	支払利息	11, 962	12, 931	△969	
	患者外給食材料費	232	231	1	
	雑損失	30, 551	23, 437	7, 114	
	特別損失	0	0	0	
	費用合計	935, 338	895, 917	39, 421	
	収支差引	△58, 089	△55, 628	△2, 461	

4. 使用料、手数料の改定(令和元年10月1日より)

(単位:円)

	改定後	改定前	
テレビ使用料(カー	220	210	
冷蔵庫使用料(カー	110	100	
差額病室料(1日	洗面所、便所及び浴室並びに冷房装置 付個室	2, 200	2, 160
1室)	洗面所、便所及び浴室付2人室	1,650	1,620
	洗面所及び便所付個室	1, 100	1,080
	明細を要する複雑なもの	5, 500	5, 400
健康診断書(1通)	複雑なもの(内容指定等)	3, 300	3, 240
	簡易なもの及び当院様式	1, 100	1,080
出生・死亡診断書	2, 200	2, 160	
瓦休於安料	勤務時間內	11,000	10, 800
死体検案料 	勤務時間外	16, 500	16, 200
その他諸証明等()	1, 100	1,080	
<b>死然加墨料</b>	寝間着なし	1,650	1,620
死後処置料	寝間着込み	4, 950	4, 860

## 5. 会計

項

企業債及び一時借入金の概要

#### (1) 企業債

前年度末未償還残高 本年度企業債発行額 本年度償還金額 本年度末未償還残高 805,644,873円 114,200,000円 60,521,592円 859,323,281円

#### (2) 一時借入金

大規模な資産の取得(給排水衛生設備改修工事等)や累積欠損金等の影響により、病院事業の現金預金が一時的に不足となったため、事業の運営資金不足を補うため、一般会計から下記のとおり一時借入を行った。

借入金額 100,000千円

借入期間 令和元年12月3日~令和2年3月5日